

令和2年度事業概況

(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

甲、庶務に関する事項

1. 総会

(1) 第70回通常総会

令和2年7月31日、書面により開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- 第1号報告 令和元年度事業報告の件
- 第2号報告 公益目的支出計画実施報告の件
- 第3号報告 令和2年度事業計画の件
- 第4号報告 令和2年度収支予算の件

II 提出議案

- 第1号議案 令和元年度収支決算報告承認の件
- 第2号議案 令和2年度会費徴収方法承認の件
- 第3号議案 令和2年度役員報酬承認の件
- 第4号議案 任期満了に伴う役員選任の件
- 第5号議案 付帯決議の件

2. 理事会

(1) 第299回理事会（臨時）

令和2年5月13日、書面により開催し、次の事項を議決した。

I 協議事項

- (1) 第15回全日本ホルスタイン共進会の今年度開催の中止
- (2) 今後の行事日程

(2) 第300回理事会（臨時）

令和2年6月11日、書面により開催し、次の事項を議決した。

I 協議事項

- (1) 第15回全日本ホルスタイン共進会の開催中止

(3) 第301回理事会

令和2年7月10日、書面により開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 第15回全日本ホルスタイン共進会

- (2) 令和元年度国等の補助事業の概況
- (3) 令和2年度国等の補助事業の実施

II 協議事項

- (1) 令和元年度事業報告
- (2) 令和元年度収支決算報告
 - ① 本局からの報告
 - ② 支局からの報告
 - ③ 決算監査報告
- (3) 任期満了に伴う役員候補者の推薦
- (4) 第70回通常総会の招集及び付議事項
- (5) SNP検査に関する取扱要項等の一部改正
- (6) 第16回全日本ホルスタイン共進会
- (7) 今後の行事日程

(4) 第302回理事会

令和2年7月31日、書面により開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和元年度登録委員並びに支部・承認団体の表彰
- (2) 令和元年度審査成績並びに検定成績優秀牛群等の表彰

II 協議事項

- (1) 第70回通常総会付議事項

(5) 第303回理事会

令和2年7月31日、書面により開催し、次の事項を議決した。

I 協議事項

- (1) 会長、副会長、専務理事の選任
- (2) 顧問、相談役の委嘱
- (3) 選挙管理委員の選任
- (4) 役員退任慰労金の支出
- (5) 今後の行事日程

(6) 第304回理事会

令和2年11月16日、ウェブにより開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和2年度中間事業概況
- (2) 令和2年度中間決算報告
- (3) 令和2年度中間監査報告
- (4) 社員補欠選挙当選者の報告

- (5) 第 15 回全日本ホルスタイン共進会の中止
- (6) 乳用牛生産性長命連産性の遺伝改良研究事業
- (7) 世界ホルスタインフリージアン会議の中止

II 協議事項

- (1) 副会長の選任
- (2) 第 16 回全日本ホルスタイン共進会
- (3) 全国データベース構築事業（全国版畜産クラウド）への参加
- (4) 今後の行事日程

(7) 第 305 回理事会

令和 3 年 3 月 19 日、ウェブにより開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和 2 年度中間事業概況
- (2) 令和 2 年度社員会議・冬期登録事務担当者会議の報告
- (3) 令和 2 年度国等の補助事業実施状況

II 協議事項

- (1) 令和 3 年度事業計画
- (2) 令和 3 年度収支予算
- (3) 令和 3 年度臨時総会付議事項
- (4) 役員報酬及び退任慰労金の支出
- (5) 任期満了に伴う社員選挙の実施
- (6) 令和 3 年度乳用牛生産性長命連産性の遺伝改良研究事業
- (7) 第 16 回全日本ホルスタイン共進会
- (8) 今後の行事日程

3. 正副会長会

令和 2 年 5 月 8 日、ウェブにより正副会長会を開催し、次の事項を議決した。

I 協議事項

- (1) 第 15 回全日本ホルスタイン共進会開催の是非

4. 監査会

令和 2 年 6 月 23 日に本局において令和元年度決算監査会を、10 月 23 日には書面により令和 2 年度中間監査会を開催し、会計監査並びに業務監査を実施した。

5. 社員補欠選挙

社員の辞任に伴い、令和 2 年 4 月 27 日、7 月 6 日、7 月 31 日、8 月 27 日に社員補欠選挙を実施し、各選挙区で候補者が社員定数を超えなかったため、社員選挙規則第 18 条に基づき、無投票で候補者の当選が確定した。

6. 社員会議

社員に対して、当年度の事業実施状況や中間決算を報告し、次年度の登録推進対策や事業運営に係る事項等を協議するための社員会議を、今年度は今般のコロナ禍に対する感染予防のため、令和3年2月5日に書面により開催した。

7. 会 員

令和3年3月末日現在の会員数は次のとおり。

(1) 会 員

	本 局	支 局	合 計
会員数	4,811 名	5,873 名	10,684 名
(前年度実績比)	(95.0%)	(95.8%)	(95.4%)

(2) 賛助会員

	本 局	支 局	合 計
(団体)			
会員数 (口数)	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
払込件数 (口数)	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
(個人)			
会員数	29 名	0	29 名
払込件数	29 名	0	29 名

8. 職 員

令和3年3月末日現在の職員数は次のとおり。

職 名	本 局				支 局				合計
	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	平成3 年3月 末現在	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	令和3 年3月 末現在	
事務局長									0
支 局 長					1			1	1
技 師	10			10	17	3	1	19	29
主 事	6			6					6
参与・嘱託	1		1	0					0
事務取扱	0	2	0	2	25	3	4	24	26
合 計	17	2	1	18	43	6	5	44	62

9. 登録委員

種 別	任命 委嘱	解職 解嘱	令和3年 3月末現在	備 考
総務委員	0	0	3 名	
審査委員	0	0	22 名	
検定委員	95	152	1,654 名	
計	95 名	152 名	1,679 名	

10. 支部の設置

令和3年3月末日現在の支部設置状況は次のとおり。

山形県支部 (S34. 7. 1)

秋田県支部 (S35. 4. 1)

京都府支部 (S42. 4. 1)

岩手県支部 (S58. 8. 11)

(附) 支部・承認団体一覧

区 分		都 道 府 県
支部	4	岩手、秋田、山形、京都
承認団体	43	
ホルスタイン協会	(3)	宮城、静岡、奈良
酪農協連、酪農農協連	(8)	茨城、千葉、神奈川、新潟、 三重、愛媛、長崎、熊本
経済農協連	(1)	宮崎
全農	(2)	青森、長野
農協	(5)	北海道、鳥取、島根、香川、佐賀
酪農協、酪農農協	(12)	福島、栃木、東京、石川、愛知、兵庫、 岡山、広島、徳島、福岡、大分、鹿児島
畜産農協	(1)	大阪
家畜改良協会	(3)	山梨、和歌山、沖縄
畜産会	(2)	埼玉、高知
畜産協会	(3)	群馬、福井、岐阜
畜産振興協会	(3)	富山、滋賀、山口
合 計	47	

乙、業務に関する事項

1. 血統登録、証明申込

(1) 主な登録申込頭・件数

令和2年度の主な申込頭数・件数は次のとおり。

1) 血統登録

種別	本局		支局		合計	
申込頭数(雌)	44,517	頭	172,369	頭	216,886	頭
“(雄)	139	頭	363	頭	502	頭
計	44,656	頭	172,732	頭	217,388	頭
(前年度実績比)	93.5	%	96.3	%	95.7	%
予算	42,950	頭	175,000	頭	217,950	頭
(予算比)	104.0	%	98.7	%	99.7	%
登録頭数(雌)	43,853	頭	172,015	頭	215,868	頭
“(雄)	137	頭	366	頭	503	頭
計	43,990	頭	172,381	頭	216,371	頭

2) 移動証明

種別	本局		支局		合計	
申込件数	3,401	件	1,759	件	5,160	件
(前年度実績比)	103.5	%	82.4	%	95.2	%
予算	2,690	件	1,900	件	4,590	件
(予算比)	126.4	%	92.6	%	112.4	%
証明件数	3,324	件	1,749	件	5,073	件

3) 審査成績証明

申込頭数						
種別	本局		支局		合計	
牛群審査(雌)	5,802	頭	13,502	頭	19,304	頭
“(戸数)	432	戸	1,010	戸	1,442	戸
個体審査(雌)	214	頭	537	頭	751	頭
“(雄)	1	頭	12	頭	13	頭
計	6,017	頭	14,051	頭	20,068	頭
(前年度実績比)	64.0	%	97.7	%	82.6	%
予算	9,430	頭	15,340	頭	24,770	頭
(予算比)	63.8	%	91.6	%	81.0	%
証明頭数						
牛群審査(雌)、 体型調査	13,745	頭	28,828	頭	42,573	頭
個体審査(雌)	213	頭	537	頭	750	頭
“(雄)	1	頭	12	頭	13	頭
計	13,959	頭	29,377	頭	43,336	頭

4) 検定成績証明

種別	本局		支局		合計	
申込件数						
牛群一括検定	4,138	件	69,808	件	73,946	件
〃 (戸数)	102	戸	776	戸	878	戸
個体検定	58	件	39	件	97	件
計	4,196	件	69,847	件	74,043	件
(前年度実績比)	97.6	%	101.9	%	101.7	%
予算	4,460	件	65,110	件	69,570	件
(予算比)	94.1	%	107.3	%	106.4	%
証明件数	4,216	件	68,276	件	72,492	件

5) 再交付・更正・書換申込、E T事務取扱件数

種別	本局		支局		合計	
再交付	273	件	1,218	件	1,491	件
更正・書換	165	件	319	件	484	件
E T事務取扱	1,516	件	2,379	件	3,895	件

6) 血統能力証明

種別	本局		支局		合計	
証明件数	360	件	4,824	件	5,184	件

7) 遺伝子型証明

申込件数

種別	本局		支局		合計	
雄牛の遺伝子型判定	194	件	387	件	581	件
E T生産牛の親子判定	1,401	件	2,147	件	3,548	件
父母牛の判定	742	件	2,246	件	2,988	件
卵性の判定	0	件	0	件	0	件
フリーマーチンの判定	158	件	302	件	460	件
採血を伴わない判定	79	件	296	件	375	件
CVM判定	1	件	13	件	14	件
BLAD判定	0	件	13	件	13	件
遺伝子型同一性の検査	0	件	106	件	106	件
BLAD CVMの同時判定	0	件	0	件	0	件
RED因子検査	7	件	6	件	13	件
単蹄因子検査	1	件	0	件	1	件
ブラキスピイナ検査	143	件	390	件	533	件
CDの判定	144	件	396	件	540	件
HH1検査	0	件	2	件	2	件

BLAD CVM 単蹄の同時判定	139 件	376 件	515 件
LD SNP検査	267 件	1,340 件	1,607 件
50K SNP検査	23 件	18 件	41 件
XT SNP検査	1,153 件	2,384 件	3,537 件
計	4,452 件	10,422 件	14,874 件

8) 選 奨

生涯検定牛			
種 別	本 局	支 局	合 計
金	83 頭	1,521 頭	1,604 頭
銀	144 頭	2,614 頭	2,758 頭
銅	464 頭	8,035 頭	8,499 頭
計	691 頭	12,170 頭	12,861 頭

(2) ブラウンスイス種、エアシャー種及びガーンジー種等の登録

ホルスタイン種牛登録規程を準用し、ブラウンスイス種、エアシャー種及びガーンジー種の登録を実施した。

(3) 登録牛の遺伝子型調査

遺伝子型調査に関する取扱要項により、雄の血統登録時の申込みに伴う遺伝子型の調査、父母牛の判定、フリーマーチンの判定等の検査を、(一社)家畜改良事業団に委託して実施した。

(4) 登録牛のSNP検査

遺伝的能力評価の精度向上に有効なゲノミック情報の収集と情報提供を行うため、登録(申請)牛を対象としたSNP検査を、(一社)家畜改良事業団に委託して実施した。

2. 登録、育種改良のための情報収集、調査研究及び情報提供

(1) 調査及び研究事項

1) 日本中央競馬会の畜産振興事業として、新規に「乳用牛生産性長命連産性の遺伝改良研究事業」を実施した。推進委員会を開催して、生産性や長命連産性に関係した耐病性のゲノミック評価法の開発について協議した。また、関係機関並びに酪農家の協力を得て、疾病形質データ並びにSNP情報の収集を行った。

2) 乳用牛群検定全国協議会から委託を受け、後代検定事業に必要な初産検定牛(後代検定材料娘牛及び同期牛)の体型データを収集して同協議会に提供するとともに、調査農家に対して情報還元を行った。

3) 乳用牛群検定全国協議会から委託を受け、(独)家畜改良センターが行う泌乳能力及び体型の遺伝評価に必要な血縁ファイルを作成し、同協議会に提供した。

4) 乳用牛群検定全国協議会から委託を受け、ホルスタインの改良に必要な雄牛並びに雌

牛選定のためのSNP検査を実施した。

- 5) 乳用牛群検定全国協議会から委託を受け、搾乳ロボットに関係した体型形質等のデータ収集を行い、搾乳ロボットへの適合性指数開発のための基礎分析を行った。
- 6) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、「乳用牛改良増殖推進事業」に必要なSNPデータによる血縁矛盾調査並びにゲノミック評価手法の開発・検証を行った。
- 7) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、「乳用種雄牛後代検定事業」に必要な候補種雄牛に係る近交回避資料と父母牛の能力調書を作成して、同事業団に提供した。

3. 登録、審査に関する研修会、講習会及び共進会の開催

(1) 地区別登録委員研修会の開催（中止）

登録業務の円滑な遂行と審査技術の向上を図るため、都府県5ブロックにおいて登録委員等を対象として地区別登録委員研修会の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により本年度の開催を中止した。併せて、夏期登録事務担当者会議も中止した。

(2) 冬期登録事務担当者会議の開催

登録事務の円滑な遂行を図るための冬期登録事務担当者会議を、今年度はコロナ禍に対する感染症予防のため、令和3年2月5日に書面により開催した。

(3) 支部・承認団体登録事務取扱者研修会の開催（中止）

支部・承認団体の登録事務をより円滑に遂行するため、本会において地方ターミナルシステムの操作説明を主体とした登録事務取扱者研修会を開催予定したが、コロナ禍に対する感染症予防のため、本年度の開催を中止し、必要に応じて個別に対応した。

(4) 第15回全日本ホルスタイン共進会の開催（中止）

令和2年10月31日～11月2日に宮崎県の都城地域家畜市場において第15回全共九州・沖縄ブロック大会を開催することで、全共実行委員会を中心に開催準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大とその終息の見通しが立たないことから、本共進会の開催中止を決定した。

(5) 第16回全日本ホルスタイン共進会の開催検討

第16回全共開催については、東北・関東地区役員等から成る全共対策委員会を設置して開催候補地の選定、現地調査及び会場引受要請等を行ってきたが、会場施設、開催経費及び人員確保等の困難性から会場を引受けていただける県はなく、令和3年3月の第305回理事会において東北・関東ブロック開催を断念し、改めて、第16回全共企画委員会を設置して、全共ブロック開催の見直しと第16回全共の具体的内容等について協議を進めることとした。

4. 機関誌の発行及び図書等の出版

(1) 機関誌の発行

機関誌「全酪新報・日本ホルスタイン登録協会特集号」を令和2年7月20日、9月20日、令和3年1月20日に発行し、会員及び登録委員その他関係者に送付した。

(2) 「登録委員だより」の発行

登録取扱事務に関する連絡の徹底を図るとともに、乳牛改良等の現場に必要な情報を提供するため、「登録委員だより」を発行して登録委員ほか関係者に配布した。

(3) 「ホルスタイン手帳」の作製配付

2021年版「ホルスタイン手帳」を作製し、登録委員その他関係者に送付したほか、希望者に頒布した。

5. その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 支部・承認団体の表彰

登録推進対策の一環として、会員拡大推進、自動登録普及推進、血統登録普及推進、審査普及推進の各表彰要領に基づき、対象となる支部・承認団体を表彰した。

(2) 登録委員の表彰

登録委員に対する表彰要領に基づき、登録の普及推進と正確性の向上に貢献したと認められた登録委員を表彰した。

(3) 審査成績優秀牛群の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、審査成績優秀牛群表彰要領に基づき、審査成績優秀牛群を表彰した。

(4) 検定成績優秀牛群並びに優秀牛の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、検定成績優秀牛群並びに優秀牛表彰要領に基づき検定成績優秀牛群並びに優秀牛を表彰した。

(5) 支部・承認団体に対する助成

支部・承認団体に対して、登録普及に関する助成要項に基づき登録取扱委託手数料、抜取調査委託手数料、登録講習会補助金等を交付した。

(6) 地区共進会への選賞

各地区共進会やB&Wショウに対して、共進会出品優良牛選賞規程に基づき選賞を行った。

(7) ジャージー種牛の登録等事務の受託

日本ジャージー登録協会の委託を受けて、ジャージー種の登録事業を行うとともに、全国ジャージー酪農振興協議会の事務局業務を受託して行った。令和2年度の主な登録申込頭数・件数は次のとおり。

種別	都府県	北海道	合計
血統登録(雌)	698 頭	812 頭	1,510 頭
〃(雄)	1 頭	1 頭	2 頭
移動証明	4 件	7 件	11 件
審査成績証明			
牛群審査	72 頭	20 頭	92 頭
個体審査	5 頭	26 頭	31 頭
検定成績証明			
牛群一括	0 件	183 件	183 件
個体検定	0 件	2 件	2 件
再交付・更正・書換	0 件	5 件	5 件
E T事務取扱	6 件	13 件	19 件
遺伝子型調査	24 件	0 件	24 件

(8) 全国ホルスタイン改良協議会等の事務局受託

全国ホルスタイン改良協議会及び家畜登録団体中央協議会の事務局業務を受託して行った。

(9) 日本ホルスタイン会館の運営

日本ホルスタイン会館の財産価値の維持と有効活用に支障が生じないように、会館の運営に必要な管理・整備に努めた。

なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。